

病原原虫学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Christensen P, Cinzah R, Suwanarusk R, Chua ACY, Kaneko O, Kyle DE, Aung HL, Matheson J, Bifani P, Renia L, Cook GM, Snounou G, Russell B: Extended blood stage sensitivity profiles of *Plasmodium cynomolgi* to doxycycline and tafenoquine, as a model for *Plasmodium vivax*. *Antimicrob Agents Chemother* 68(5): e0028024,2024. doi: 10.1128/aac.00280-24.
2. Makau M, Kanoi BN, Mgawe C, Maina M, Bitshi M, Too EK, Naruse TK, Abkallo HM, Waweru H, Adung'o F, Kaneko O, Gitaka J: Presence of *Plasmodium falciparum* strains with artemisinin-resistant K13 mutation C469Y in Busia County, Western Kenya. *Trop Med Health* 52(1): 72,2024. doi: 10.1186/s41182-024-00640-1.
3. Wu J, Oguz C, Teklemichael AA, Xu F, Stadler RV, Lucky AB, Liu S, Kaneko O, Lack J, Su XZ: Comparative genomics of *Plasmodium yoelii nigeriensis* N67 and N67C: genome-wide polymorphisms, differential gene expression, and drug resistance. *BMC Genomics* 25(1): 1035,2024. doi: 10.1186/s12864-024-10961-4.

A-b

1. Miyazaki Y, Miyazaki S: Reporter parasite lines: valuable tools for the study of *Plasmodium* biology. *Trends Parasitol* 40(11): 1000-1015,2024. doi: 10.1016/j.pt.2024.09.003.

B 邦文

B-b

1. 成瀬妙子：基礎知識：認定制度筆記試験の解説とポイント整理—初心に還って基礎の基礎から—。MHC 31(2): 53-61, 2024.

B-c

1. 成瀬妙子：Ⅱ 組織適合抗原 1. HLAの概要1-6. 移植・検査輸血学：32-43, 2024.
2. 成瀬妙子：Ⅳ 検査の原理 1. HLA遺伝子検査1-5. 移植・検査輸血学：132-138, 2024.
3. 成瀬妙子：Ⅳ 検査の原理 3. 細胞学的検査1-2. 移植・検査輸血学：149-150, 2024.
4. 成瀬妙子：Ⅷ 移植・輸血検査学実習 1. HLA遺伝子検査1-3. 移植・検査輸血学：278-282, 2024.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	7	9	1	0	8

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
金子 修・教授	評議員、理事	日本寄生虫学会
金子 修・教授	評議員、幹事	日本熱帯医学会
金子 修・教授	編集委員	学術誌PLOS ONE
金子 修・教授	編集委員	学術誌Parasitology International
金子 修・教授	編集委員	学術誌Tropical Medicine and Health
成瀬妙子・助教	評議員、副理事長、将来構想委員長、編集委員	日本組織適合性学会
成瀬妙子・助教	代議員	日本移植学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研 究 題 目
金子 修・教授	Global Health Innovative Technology Fund	代表	Towards the rapid diagnosis of malaria hypnozoite infection: feasibility studies
金子 修・教授	【文科省】研究開発施設共用等促進費補助金 ナショナルバイオリソースプロジェクト 中核拠点整備プログラム	代表	病原真核微生物の収集、保存、提供体制の整備 (病原原虫の収集、保存、提供)
金子 修・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	代表	中部アフリカにおける熱帯熱マラリアのアルテシニン耐性分子機序の解明
金子 修・教授	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	代表	ベトナムにおける新興・再興感染症研究推進プロジェクト
金子 修・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) マラリア原虫の赤血球侵入における分子分泌調節機構の解明
金子 修・教授	日本学術振興会	代表	萌芽 三日熱マラリア原虫の実用的in vitro培養系の確立に向けた開発研究
金子 修・教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究強化(B) アフリカ型アルテシニン耐性マラリアの耐性機序の解明
成瀬妙子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 血液型物質グライコフォリンの遺伝子多型はマラリアの赤血球侵入に影響するか
宮崎幸子・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 熱帯熱マラリア原虫の蚊体内及びヒト肝細胞内における脂質代謝機構の解明
宮崎幸子・助教	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	分担	マラリア患者由来臨床サンプルを起点とした熱帯熱マラリア原虫の病原性・蚊への伝播能を決定するメカニズムの理解
金子 修・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点一般共同研究 Malaria Parasites in Birds and Mosquito Vectors collected from five Zoos of Thailand
金子 修・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点一般共同研究 亜熱帯植物・海洋生物等の天然資源由来の新規抗マラリア活性成分の探索
金子 修・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点一般共同研究 Development of a recombinant protein-based ELISA for the detection of Plasmodium knowlesi malaria
金子 修・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点一般共同研究 マラリア原虫感染マウスの原虫増殖曲線の差を決定づける宿主応答反応の探索
金子 修・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点一般共同研究 マラリア原虫と感染赤血球の膜脂質の微細局在とその機能の解明
金子 修・教授	長崎大学熱帯医学研究所	分担	熱帯医学研究拠点シーズ研究発掘課題 サルマラリア原虫Plasmodium knowlesiの高感度POCT診断システムの構築
金子 修・教授	株式会社ニコンソリューションズ（2020/10/1にニコンインステックから社名変更）	イメージングによる病原体の感染メカニズムの可視化と理解	

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
金子 修・教授	不死化赤血球前駆細胞由来の血球様細胞を用いたマラリア原虫等の維持培養・感染評価に適した細胞の決定方法	2017年10月18日	2019年4月25日	W02019078252A1

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
金子 修・教授	非常勤講師（寄生虫学）	大阪公立大学大学院医学研究科